

一級自動車工学科、自動車整備科、自動車整備・A²・A³科、自動車整備・カスタム科、国際自動車整備科 2023年度 授業計画

時期	1年C巡	単元	実習	教科名	エンジン分解始動	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	三級自動車ガソリン・エンジン		発行日	2020年3月17日
			三級二輪自動車			
総時限	25(40)				教科担当	教科担当

1. 実務経験のある教員による授業科目 **該当** 非該当

自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの分解・組立・点検等について指導する。

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

1. エンジンの分解始動をするなかで、安全作業を知る。 6. バルブタイミングを理解する。
2. バルブクリアランスの点検調整が出来る。
3. オイルクリアランスの点検が出来る。
4. 冷却装置、潤滑装置の概要と点検が出来る。
5. ファンベルトの交換・調整が出来る。

3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)

1. エンジン主要部品の名称・役割がわかる。
2. 潤滑装置の名称・役割がわかる。
3. 冷却装置の名称・役割がわかる。
4. 工具・装置の正しい使用法と安全作業が出来る。
 - ① エンジンをお客様に出せるレベルに仕上げる。
 - ② 測定機器を使い消耗部品をチェック出来る。
 - ③ バルブクリアランスの測定、調整が出来る。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

実技試験 (50点)、筆記試験 (20点)、ループリック (15点)、レポート (15点) の合計点が60(70)点以上を合格とする。

5. 準備学習

一級自動車工学科、自動車整備科、自動車整備・ホールドリア科、自動車整備・カスタム科、国際自動車整備科

2023年度 授業計画

時期	1年C巡	単元	実習	教科名	エンジン分解始動
----	------	----	----	-----	----------

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	シリンダヘッド取り外し	スピナハンドルで緩めるときは、引くようにして緩める。	押して緩めた際に指をシリンダヘッドに打ち付け指を裂傷した。	
2	ドライブプレートの脱着	ボルトの頭が薄く、工具のかかりが浅いため工具が外れやすいので、しっかりと工具を押えて作業する。 万が一外れた場合でも、態勢を崩してこけないように、姿勢にも注意する。	工具が外れ、手をエンジンで打撲。 工具が外れ、態勢を崩して転倒。	

8. 授業レイアウト (写真の貼り付け可)

実習場	座学教室